

高校生向けの取り組み

(平成 29 年度 石川県)

平成 30 年 2 月 1 日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

高校生向けの取り組み

○高校訪問

県内の夜間、私立を含む55校を対象（11月21日現在 53校を訪問）
進路担当教諭に対して、建設業振興グループ（県土木部監理課の職員）が、
リーフレット（協会作成）と今年2月に（訪問に先立ち）実施したアンケート
の結果を基に

- ① 建設業への入職を依頼
→求人票の学校への提出の可否
- ② 現場見学会、ガイダンスへの参加の依頼
- ③ より建設業を知ってもらうために、職業講話、意見交換会などの実施に
ついて

を説明、理解・協力をお願いしている。

○職業講話、意見交換会

学校の要望に即した職業講話、意見交換会を実施

- ① 金沢辰巳丘高校（6月15日）30人参加（H28年度に引き続き）
→学校が実施している 職業ガイダンス（2年生対象） の一つのコースと
して実施
道路建設を一つの例として、パワーポイントにて建設業を説明
県・建設業振興GLが講師
- ② 小松北高校（6月16日）11人参加（H29年度より）
学校が実施している 職業ガイダンスの新たなコース として、希望した受
講生に 建設業を紹介してもらいたい との要望
→県建設業協会、地区建設業協会に相談し、榑吉光組がドローンの実演
を交えながら、建設業の魅力を伝えた
- ③ 七尾高校（8月4日）81人参加（H29年度より）
建設業及び公務員志望の生徒もいる ので、県土木部の仕事内容を 理系の
1、2年生 の受講希望者に伝えてもらいたいとの要望
→石川県の土木についてパワーポイントにて、大森中能登土木総合事務
所所長が説明
- ④ 金沢伏見高校（9月21日）10人参加（H28年度に引き続き）
学校が実施している 職業ガイダンスの一つのコース として、具体的な職
種として 建設業を紹介してもらいたい との要望
→建設業協会に相談し、榑明翫組が次週の現場見学会と併せ、自社の事
業概要を説明

⑤ 金沢桜丘高校（11月17日）1、2年生の希望者（H29年度より）

ア 学校が実施している 職業ガイダンスの一つのコース として、具体的な職種として 建設業を紹介してもらいたい との要望

→建設業協会に相談し、(株)明翫組が自社の事業概要を説明（約80人参加）

イ 建設業及び公務員志望の生徒もいる ので、県土木部の仕事内容を 理系の1、2年 の受講希望者に伝えてもらいたいとの要望

→石川県の土木についてパワーポイントにて、竹俣次長が説明（約120人参加）

⑥ 金沢泉丘高校（11月20日）25人参加（H29年度より）

建設業及び公務員志望の生徒もいる ので、県土木部の仕事内容を 理系の1、2年生 の受講希望者に伝えてもらいたいとの要望

→石川県の土木についてパワーポイントにて、東県央土木総合事務所所長が説明

○企業ガイダンス(7月8日開催)

・石川県（総務部、商工労働部）、県教育委員会、労働局の主催で毎年実施。

その年の就職を希望する3年生が対象。当日、約1900人が参加（就職希望者の約8割）

金沢駅と会場（産業展示館）間（約6km）で無料臨時バスを運行（県・商工労働部の予算にて）

・県内の企業に参加を募り、産業展示館4号館でそれぞれの企業がブースを設け、自社について高校生に直接説明

（参加企業191社 うち 建設業36社（うち県協会会員 12社））

・1人の高校生が5社分まで説明を受けることが可能

建設業の企業ブースには延べ約900人の高校生 が参加

○現場見学会

①土木部の若手職員が企画、実施

・H28年度は2回実施 計33人参加

・H29年度：見学先

ア 能登方面 H29.8.8 荒天により中止 参加希望者17人

うち女子1人 輪島道路、真脇トンネル、小間生橋、北河内ダム

イ 金沢市内 H29.8.10 参加希望者13名のうち11人参加

うち女子7人 県立中央病院改築、海側幹線道路、犀川河川改修

②その他（高校独自に実施）

学校のキャリア教育の一環として実施したいとの要望。

→ 県建設業協会、地区建設業協会に相談し、対応可能な企業の協力を得て実施

ア 金沢伏見高校（H29.9.26 11人参加 うち女子1人）

→ 協力企業 ㈱明翫組

（金沢外環状道路 海側幹線IV期 地方道改築工事函渠工その1）

イ 寺井高校（H29.9.27 4クラス約160人参加）

1年生のそれぞれのクラスが工場見学などの他産業も含めた現場見学を行う中での一つ

4クラス、それぞれ見学コースや時間が違うので、複数の企業に協力を依頼

→ 協力企業 ㈱吉光組（2クラス参加）

（北陸新幹線 動橋川橋りょう他工事）

→ 協力企業 ㈱江口組（1クラス参加）

（国交省工事 H28 梯川白江高水護岸工事）

→ 協力企業 ㈱丸西組

（国交省工事 H28 梯川天神輪中堤その2工事）

○パネルディスカッション

金沢北陵高校（11月8日）全2年生が参加（192人）

・一つのテーマについて違う職種のパネリストが答えることで、建設業の魅力を分かりやすく伝えることを目的として実施。

・高校生と年齢が近い若手技術者がパネリストを務め、実体験に基づく話をした。

→ パネリスト

・北川ヒューテック㈱ 石本 春花（イシモト ハルカ）20歳

・㈱明翫組 新井 真輝（アライ マアキ）21歳

・参加した生徒からは、

「建設業のイメージが変わった」

「建設業への興味が少し深まった」など、好意的な意見が聞かれた。

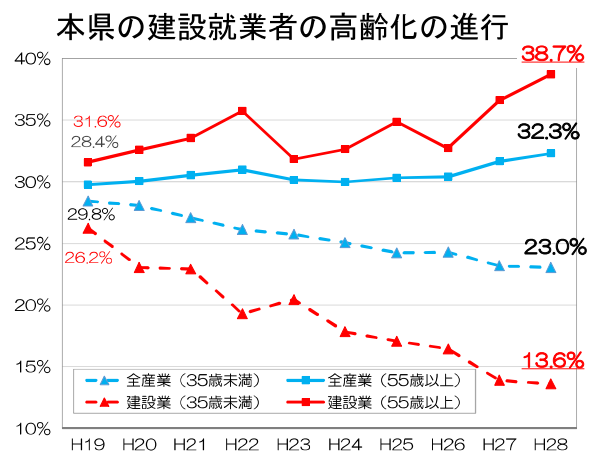
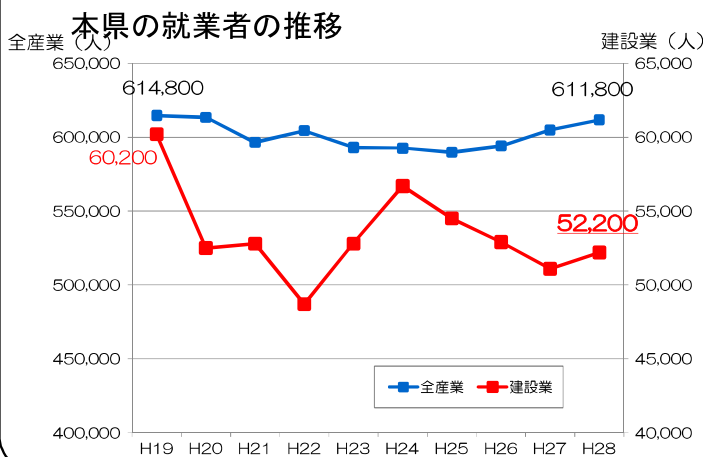
第2回目として、12月19日に金沢商業高校において実施予定

建設業における 担い手確保に向けた取り組み

建設業従事者の推移

この10年間で

- 全産業の就業者数はほぼ横ばい、建設業は約13%減
- 55歳以上の就業者の割合は全産業より建設業が高く、35歳未満の割合は全産業より建設業が低く、その傾向は年々顕著となっている



経験の浅い若手技術者が活躍できる環境づくりや労働環境の改善

建設業を支える人材を確保・育成

建設業における担い手確保に向けた取り組み

建設業の 担い手確保



将来の担い手 確保の支援

- ①学生(大学・高専・短大)向け
 - インターンシップフェスへの建設業者参加呼びかけ
- ②高校生向け
 - 企業ガイダンスへの建設業者参加呼びかけ
 - 高校訪問による入職呼びかけ
 - 高校生現場見学会の開催
 - 他業種とのコラボ企画(パネルディスカッション)
- ③小・中学生、一般向け(PR)
 - 「はだしの王国」でのブース出展
 - 各土木事務所でのPR

労働環境の改善

- いしかわ土日おやすみモデル工事の導入
- 快適トイレの導入
- 「けんせつ小町」の座談会の開催
(○ICT建設機械の活用推進)

発注者(行政)に おける業務改善

- 入札制度改革
- 総合評価の改善
- 発注見通しの統合(試行)

将来の担い手確保の支援

いしかわインターンシップフェス

大学・高専・
短大学生向け

主に夏期休暇中に実施される

インターンシップに関する情報を企業から学生に直接説明



H29. 5. 13 産業展示館で開催
約230社参加(建設業12社)
学生約1,700名参加

将来の担い手確保の支援

新規高卒者の建設業就業者数

卒業年(3月)	H26.3	H27.3	H28.3
就職年度(4月1日)	H26.4	H27.4	H28.4
A 卒業生数(全体)	10,093	10,314	10,203
A1 進学その他 (A1 / A)	7,878 78.1%	8,106 78.6%	7,951 77.9%
A2 就業者数(全体) (A2 / A)	2,215 21.9%	2,208 21.4%	2,252 22.1%
B 就業者数(建設業)	257	212	265
卒業生全体に占める割合(B / A)	2.5%	2.1%	2.6%
就業者全体に占める割合(B / A2)	11.6%	9.6%	11.8%
C 建設系卒業生 建設業就業者全体に占める割合(C / B)	85 33.1%	67 31.6%	83 31.3%
D 非建設系卒業生 建設業就業者全体に占める割合(D / B)	172 66.9%	145 68.4%	182 68.7%

約3分の2が非建設系高校
(普通科高校等)の卒業生

建設業への就業者を増やすため、
普通科高校への働きかけ
が効果的

将来の担い手確保の支援

高校生を対象とした企業ガイダンス

高校生向け

H29. 7. 8開催



- 建設業者：36社／191社（うち県建設業協会会員企業12社）
- H30. 3月卒業予定の**高校生約1,900名**が来場
（就職希望者の約8割強）
- 建設業者ブースには延べ**約900名**が参加
（1人5社分まで参加することが可能）

将来の担い手確保の支援

高校訪問による入職呼びかけ

高校生向け

今年度は、**県内全55校**を対象に**高校訪問**を実施

将来の進路を見据え、**普通科高校**においても**建設業の魅力**を伝える場として、**職業講話・意見交換会の開催**を働きかけ

職業講話・意見交換会を開催

金沢辰巳丘高(6/15)／小松北高(6/16)／七尾高(8/4)／金沢伏見高(9/21)
金沢桜丘高(11/17)／金沢泉丘高(11/20)



七尾高校



金沢伏見高校



小松北高校

将来の担い手確保の支援

高校生向けの現場見学会

高校生向け



石川県高校生 土木・建築現場見学会 in 金沢

- H29.8.10開催（県主催）
- 11名参加（うち女子生徒7名）
- 新県立中央病院建設工事、
海側幹線橋梁工事 など

※能登方面（H29.8.8）は荒天のため中止

高校独自で見学会を実施



金沢伏見高校

H29.9.26
11名参加



寺井高校

H29.9.27
4クラス
約160名参加

将来の担い手確保の支援

パネルディスカッション【他業種とのコラボ企画】

高校生向け



他の業種とのコラボにより
建設業が持つ魅力を
効果的に高校生に伝える

今年度初めて実施

<金沢北陵高校>

- H29. 11. 8
- 2年生190名参加

～生徒の声～

- 建設業のイメージが変わった。
- 建設業への興味が少し深まった。

今後の予定

12月19日 金沢商業にて実施予定



将来の担い手確保の支援

「はだしの王国」イベントブース出展（3回目）

親子向け

親子向け土木ブース

「目指せ！土木・建築エンジニア」を開設

H29. 10. 9 奥卯辰山健民公園で開催

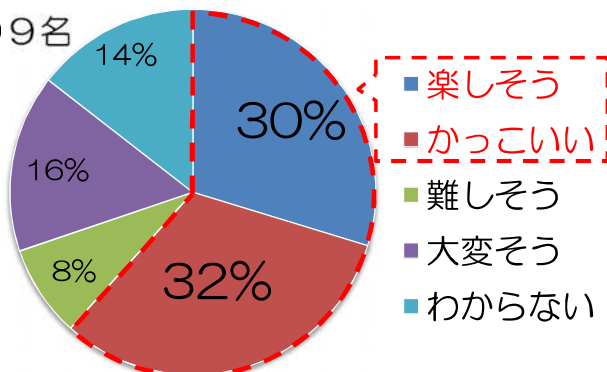
測量・重機操縦体験、クイズラリー 等
児童・保護者約700名参加

アンケート結果

Q. 「土木・建築」についてどう思うか

結果：約6割が好意的な回答

【子供】399名



将来の担い手確保の支援

「はだしの王国」での土木・建築イベントブースの出演

一般向け



重機でボールすくい



測量体験



土木実験



なりきり撮影会



液状化実験

将来の担い手確保の支援

県土木事務所によるPRイベント

一般向け

平成28年度からPRイベントや見学会等を実施
あわせて参加者へのアンケートを実施

H28 20件

H29 31件予定

歩いてみよう!「のと里山海道」 H29. 5. 14開催

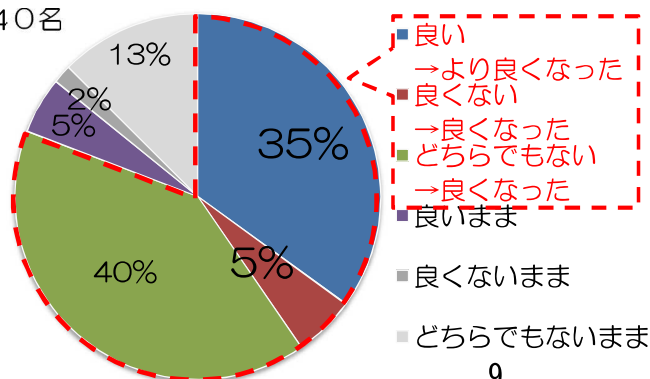
測量・重機乗車体験、クイズラリー 等 約1,600名参加

アンケート結果

Q. (イベントを通して)公共事業のイメージが変わったか
結果: 約8割が良くなったと回答



【有効回答】240名



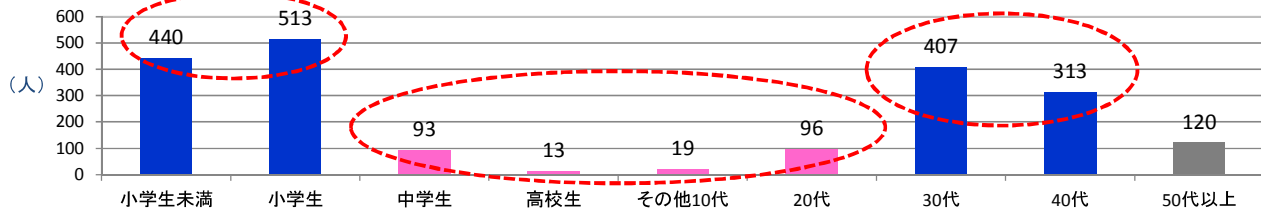
将来の担い手確保の支援

県土木事務所によるPRイベント アンケート結果（H28）

【参加者内訳】

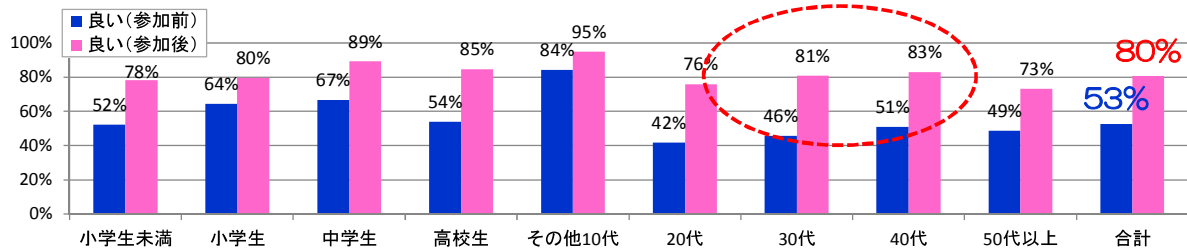
【アンケート対象】 自由参加型の7イベント(参加者数:2,014名)

- ・子ども向けイベントが多いため、**小学生未満・小学生とその保護者（30代・40代）の参加が多い**
- ・**中学生～20代までの参加が少ない**



【公共事業のイメージ】

- ・全世代で公共事業のイメージが改善 **良い53%→80%**
- ・子どもだけでなく、**保護者のイメージが大幅に改善**



今後は、**中学生～20代が参加したくなるイベントを提案**
幅広い世代が参加できる工夫

労働環境の改善

若者に「働く魅力が感じられる職場づくり」が重要
確実な休日の取得など処遇改善が必要



H27年度から「**いしかわ土日おやすみモデル工事**」を実施

【実施状況】 H27年度 14件、 H28年度 34件

■H28結果概要

- 休日取得率 **100%** (代休含む)
- アンケート結果 (回答者87名)
- 97%**がモデル工事を良いと回答

【主な意見】

- ・工種や規模に応じて取り組んだほうがよい
- ・適切な工期設定が必要
- ・工期が長くなり、仮設費などが嵩む、工事の利潤が低下

労働環境の改善

今年度の取り組み

H28アンケート結果を踏まえ、H29年度は**42件程度実施予定**

- 工種は、**道路改良・上下水道を中心に幅広く選定**
- **6,000万円以上の規模が大きい工事で初導入**
- **適切な工期を設定**
- **週休2日を実施した場合には、共通仮設費・現場管理費を変更増**

《H29アンケート速報（主な意見）》

回答者：29人（経営者29）

- 発注段階での工期設定は適切
- 工期が長くなることによるコストアップへの対応として、共通仮設費・現場管理費の増は有効
- × 週休2日制の普及には、**実稼働日数の減に伴う「作業員の年収の減」及び「企業の収入減」が課題**であり、**労務・施工単価の増が必要**
- × 週休2日制の拡大に向けては、国・県だけでなく、市町も含め、**行政が一体となり取り組むことが必要**

今後の方針

- 引き続き、モデル工事での取組を通じて現場の実態を把握しながら、**国の取組と歩調を合わせ、モデル工事を拡大・展開**

労働環境の改善

若者や女性など多様な人材の入職を促進するには、**建設現場を男女ともに働きやすい環境とすることが必要**

H29. 7月から男女共に快適に使用できる仮設トイレ

「快適トイレ」を導入

快適トイレのイメージ



快適トイレの主な仕様

- 洋式便座
- 水洗式
- ニオイ逆流防止装置
- 施錠機能
- 照明器具
- 衣類掛けフック 等

対象工事：• 6千万円以上の工事は原則実施
• 6千万円以下の工事は施工業者からの希望により実施

労働環境の改善

■背景

建設業でも、高齢化、若手入職者が減少
担い手の確保は重要な課題
近年、女性技術者も進出→「けんせつ小町」、「ドボジョ」



「けんせつ小町」の座談会

女性が働きやすい環境、公共事業のPR、担い手確保・育成等について、実際に働いている女性技術者で意見交換し、問題点を共有

日時 平成29年9月19日(火) ※昨年に引き続き2回目

場所 南加賀土木総合事務所

出席者 13名

(南加賀土木総合事務所 3名
小松能美建設業協会、加賀建設業協会 10名)



もっと頑張りたいので、
男女の区別をなくしてほしい

(子育て等で)もっと休みが
取りやすくなればよい

発注者(行政)における業務改善

○労務単価の改定 (H29. 3. 1~)

- ・ 5年連続の引き上げ、4年連続の前倒し改定
- ・ 主要な職種で平均3%の増加

○最低制限価格の改定 (H29. 4. 1~)

- ・ 直接工事費の算入率を95%から97%へ引き上げ
→ 最低制限価格の率 約89%

年度	H15	H20	H21	H23	H25	H28	H29
直接工事費	100%	95%	95%	95%	95%	95%	97%
共通仮設費	100%	90%	90%	90%	90%	90%	90%
現場管理費	20%	60%	70%	80%	80%	90%	90%
一般管理費等	—	30%	30%	30%	55%	55%	55%
最低制限価格の率	約74%	約80%	約82%	約84%	約86%	約88%	約89%

○近接工事の諸経費調整を廃止 (H29. 4. 1~)

- ・ 近接した2つ以上の工事を同一施工業者が落札した場合の諸経費調整に伴う減額変更を廃止

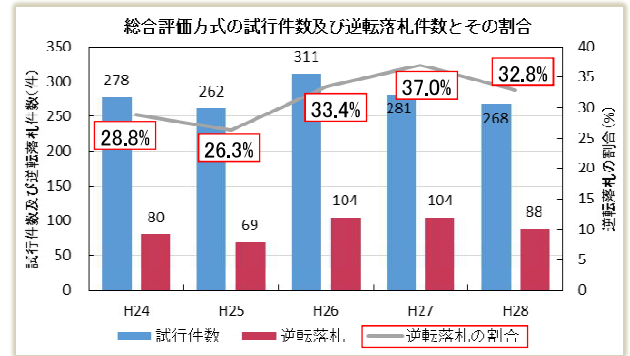
発注者(行政)における業務改善

【総合評価方式】

- 価格以外の多様な要素も考慮して、総合的に優れた落札者を決定する制度(平成18年7月導入)
- 対象: 工事価格が3千万円以上の制限付き一般競争入札(原則)

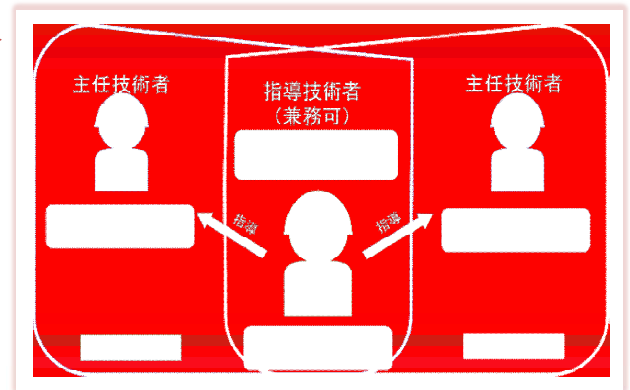
【導入効果】

- ダンピング受注の防止 (最低入札価格者以外が落札する割合: 20~40%)
- 工事の品質向上 (工事成績評価が適用しない工事より概ね2点程高い)



【近年の改善点】

- 若手技術者育成方式を導入(H27.1~)
 - (品確法が改正(H26.6)され、担い手の中長期的な育成と確保が発注者の責務として規定)
 - (ベテラン技術者が若手技術者を指導することで、技術の伝承や若手の育成を図る)
 - (平成29年度改正内容として、)
- 技術提案の課題数を低減(事務負担軽減) (3課題→2課題)
- 配置技術者のCPD評価対象を全工事に拡大



発注者(行政)における業務改善

■ 発注見通しの現状 ■

- ・発注機関の多くはインターネットで公表
- ・内容や更新時期は発注機関でバラバラ

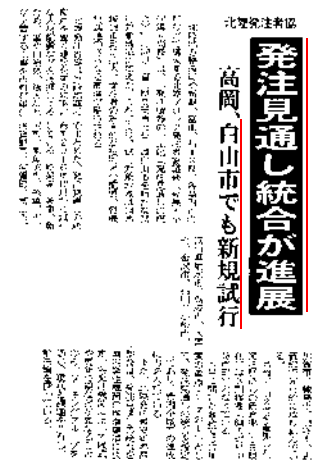
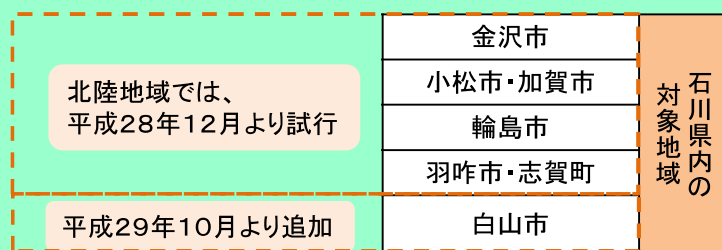
□ 受注者からの意見 □

- ・一元的な情報把握が難しく、地域単位で発注予定を把握するには時間と手間がかかる

各発注機関が個別に公表している工事の発注見通しを地域ごとに統合し公表(試行版を実施)



受注者が技術者・技能者の計画的な配置、資機材の容易な調達等を行える環境づくり



<平成29年11月8日(水) 建設通信新聞>

ただし、公表時期や頻度、公表様式(データ)にバラつきも……

今後、「発注見通しの統合」試行の更なる拡大に向け、検討を進める

未来は
この手で
つくる。

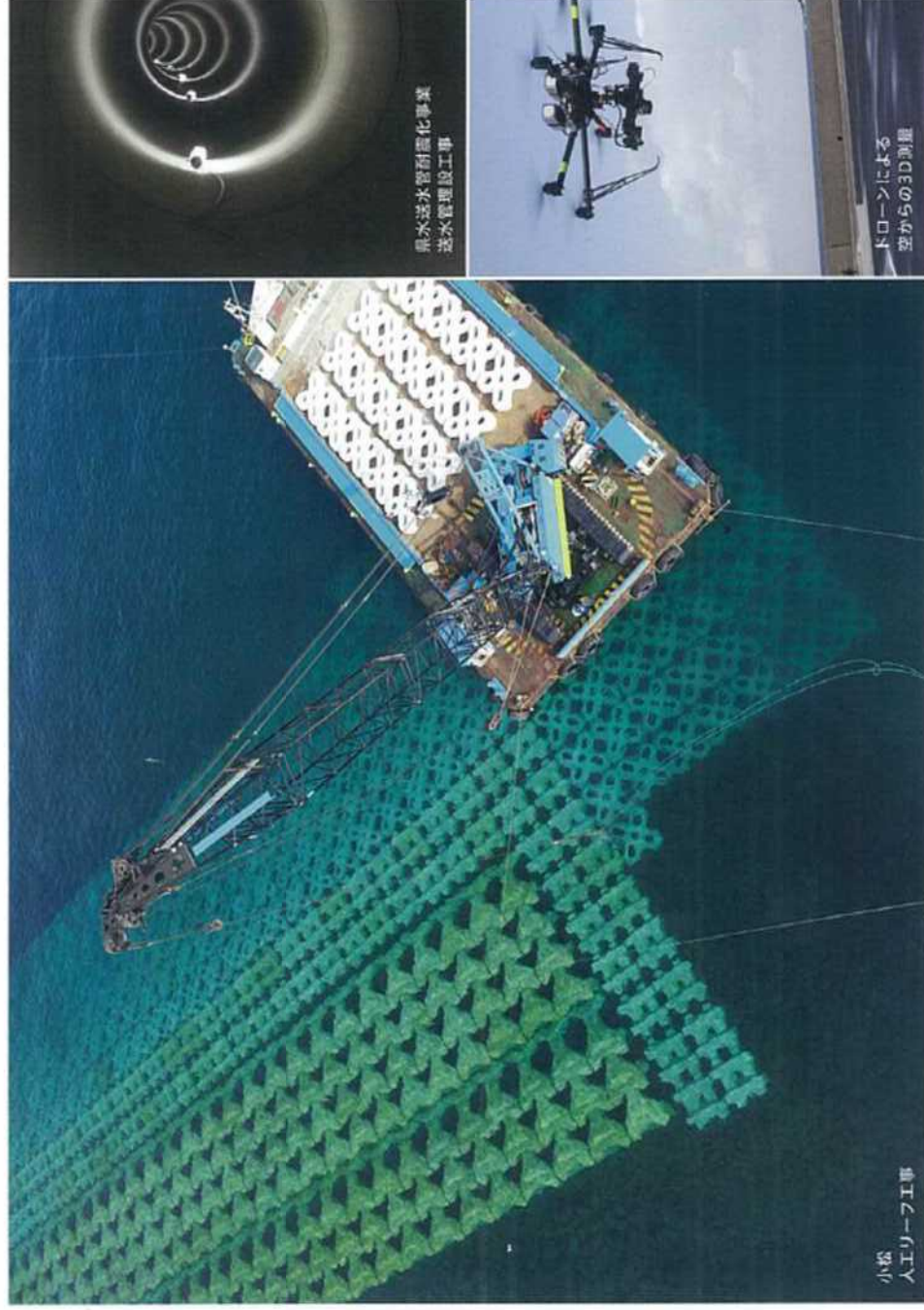
建設生産業



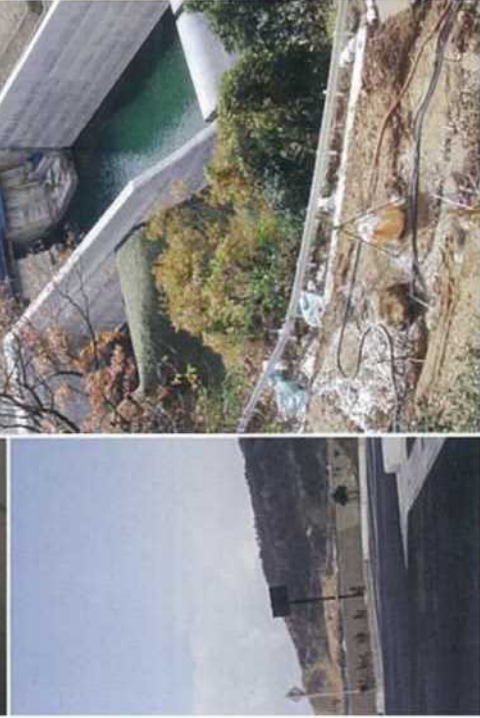
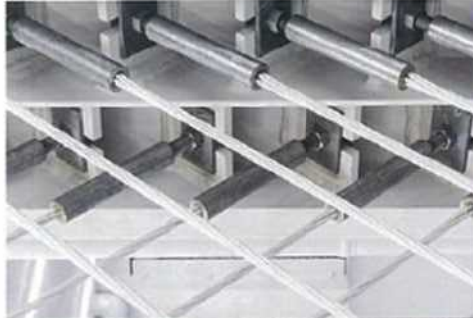
石川県建設業協会
リーフレット

現場には、普段見ることのできない風景が 広がっている。

建設産業は、日常生活では見ることのできない風景を肌で感じる事ができる仕事のひとつです。そして建設現場には様々な建設機械や最新技術を駆使する熟練の職人と呼ばれる人たちがいます。そんな職人によって作られ、そして守られているのが私たちの住むまちです。職人技ともいえる高い技術力は、一つひとつの現場を経験していくことで磨きあげられ上達していきます。技術を高めれば高めるほど見える風景も変わっていく。建設産業はそんなやりがいにも満ちた職業です。



最新技術としては、例えばドローンによる空からの3D測量があります。地上からの作業が困難な地形でも、安全で効率的に測量ができます。また、石川県が誇る炭素繊維の技術を応用した耐震補強工法も生まれています。わたしたちの生活をより安全で便利にするために、そして、これから何十年、何百年という未来のために、建設産業の果たすべき役割はますます大きくなると言えます。



汗を流して 目の前の物事に 取り組む姿は、 カッコイイ。

現場に出ると季節によって暑く寒い問題
はありますが、どんな環境下でもひたむき
に作業する人たちは、かっこいいです。建設
現場にはそんな真剣に取り組む姿がで
るやりがいのある仕事に溢れています。
それぞれ職種は違えど、楽しく安全な生活
ができるように、そして美しいまちを守る
ためにみんなが強い思いをもって、協力し
合いながら取り組んでいます。



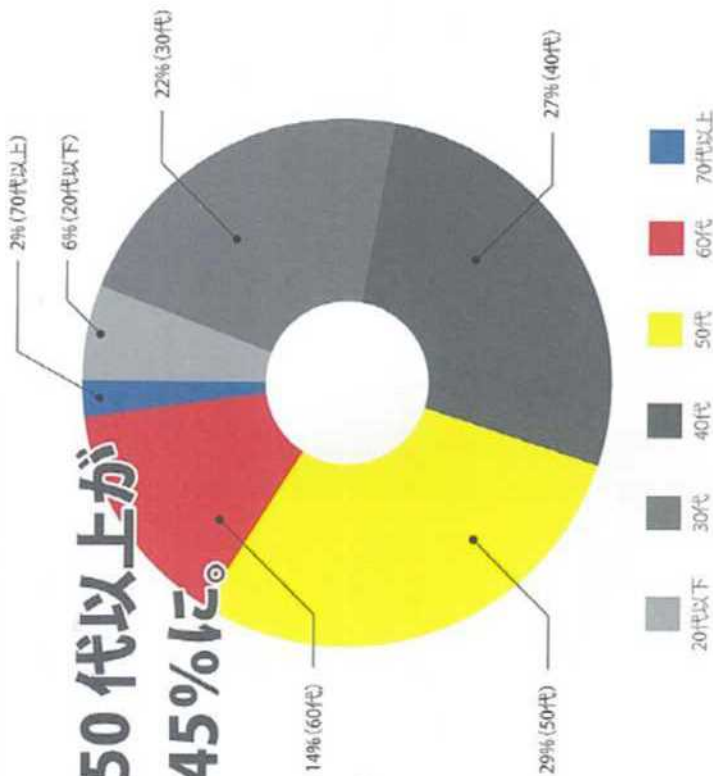


ONとOFFの メリハリが 毎日を充実させる 鍵となる。

仕事に100%集中するためには、ONとOFFの切り替えがとても重要です。友人と道んだり旅行へ行ったり、思いっきり楽しむことが仕事への活力となっていきます。建設現場で働く人たちも、休む時はしっかりと休み、楽しい時間を過ごしています。そんなONとOFFのメリハリが仕事も休日も充実させる鍵となるのです。

建設産業で働くなら今がチャンス!!

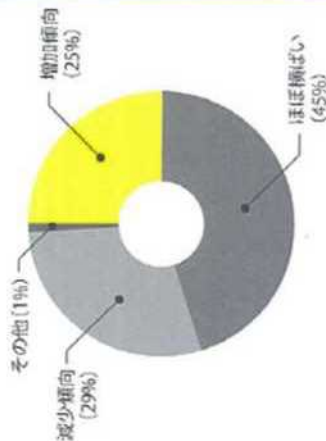
**50代以上が
45%に◎**



業界の約半数が50代以上となり、5年~10年後大量の人手不足が想定されています。そのため今建設産業に勤めると、多くのチャンスが待っているといえます。

資料：平成25年石川県建設業協会調査アンケート

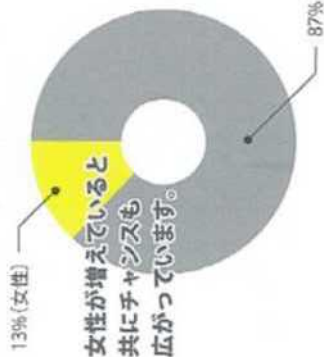
給与はあまり変動していない



資料：平成25年石川県建設業協会調査アンケート



女性が増えています!!



女性が増えていると共にチャンスも広がっています。

資料：平成25年石川県建設業協会調査アンケート

3年目の REALVOICE

施工・図制作・現場管理

**様々な協力量者を束ねる
現場監督になる。**

私は現職からよく工事現場の話を聞き、その影響が大きいくいつか工事がスムーズに進むような様々な業者を束ねる現場監督に憧れるようになり、就職を決めました。まだ働き始めて2年なので勉強不足で恥ずかしい思いや悔しい思いをすることも多々ありますが、構造物が出来上がっていく過程を間近で見ることができこの仕事にやりがいを感じています。いつか自分が指揮を執る立場となり、「良いものが出来た。」と納得できるものをつくりたいです。



11年目の REALVOICE

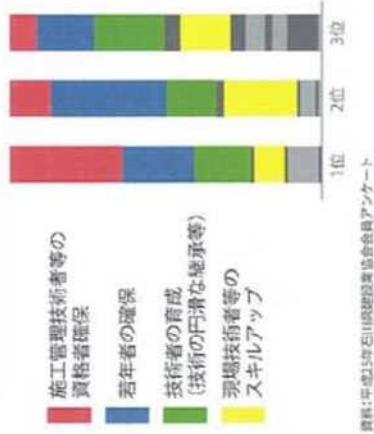
重機オペレーター

**重機に乗ることが
楽しくてしようがない。**

小学校の頃から油圧ショベルに憧れており、いつか操
作したいという思いから、この仕事に就きました。重機
の運転は免許をとればすぐには上手になりますが、操作は頭の
世界となるので5年、10年かけて上手くなっていきま
す。現場は暑い時は、本当に暑いですが、寒い時は本当
に寒いのですが、重機に乗ることが楽しくてしようが
ないので、ずっと現場にいたいと思っています。

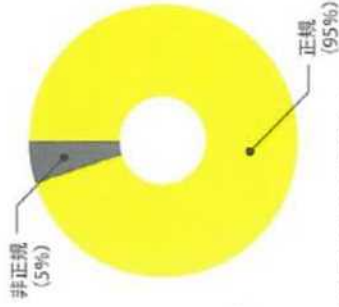


若年者の確保・育成が急務!!



資料:平成25年石川建設業協会会員アンケート

正規社員の割合が大きい!!



資料:平成25年石川建設業協会会員アンケート

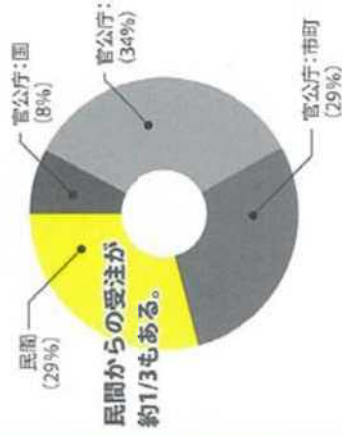
6年目の REALVOICE

施工図制作・現場管理

**自分が描いたもの通りに
できることが嬉しい。**

私は仕事の身をあまり知らずに会社に入りました。
特に1年目は、何をしているのかわからない状態で
見たが何もなかったところに建設ができあがっていくのを見
ると嬉しくなりました。自分の描いたものの通りに建
てていくのは毎回頭いい気持ちになります。女性が
少ない業界で大変と思われがちですが、周りから助け
ていただいたりなど、逆に女性は優遇されていると思
います。

民間からの受注が約1/3



資料:平成25年石川建設業協会会員アンケート

建設産業 & A

- 休みはしっかりと取れますか？
- 天候など自然相手の仕事のため、時には休日返上となることもありますが、しっかりと休日がとれるよう業界を挙げて取り組んでいます。
- 女性が働きやすい職場ですか？
- 女性技術者の増加に対応して、建設現場に専用のトイレや更衣室を設置するなど働きやすい環境が整ってきています。

危険な仕事ではないですか？

- 危険な仕事ではないですか？
- 徹底した安全対策やITを活用した無人作業などにより、安全性は日進月歩で向上しています。

将来にわたって安定的に仕事はありますか？

- 将来にわたって安定的に仕事はありますか？
- まちなかの再開発や災害に強いまちづくり、老朽施設の更新など建設業の仕事は今後いっそう社会にとって重要になっていきます。

土木・建築を専攻していませんが、大丈夫ですか？

- 土木・建築を専攻していませんが、大丈夫ですか？
- 専門知識は就職後も学ぶことはできます。また技術職だけではなく、総合職も募集しています。

監 第 2249号
平成29年2月14日

各高等学校 校長 様

石川県土木部監理課長

高校生に対するキャリア教育（就職・進学）に係る
取り組みについて（調査依頼）

日頃より、皆様におかれましては、本県土木行政にご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

さて、皆様ご存じのとおり、建設業は、本県の地域経済や雇用を支える基幹産業であるのみならず、災害復旧や除雪など県民の安全・安心の確保のために重要な役割を果たしているところですが、労働力人口の減少、少子高齢化の進展などにより人材の確保が厳しく、若手人材の確保が喫緊の課題となっております。

こうした中、県としましては、高校生に将来の職業の選択肢として建設業を考えてもらえるよう、関係団体とともに現場見学会、意見交換会やパネルディスカッションの開催などに取り組んできたところであり、皆様の協力を得て一部には効果も見え始めたところです。

担い手の確保には、このような取り組みを継続していくことが重要であると考えておりますが、より効果的に実施するには、その内容や実施時期については、皆様のご意見・ご要望に少しでも沿った形で実施したいと考えております。

つきましては、御多忙の折、大変恐縮ではございますが、別紙調査項目について平成29年2月28日までに担当までご回答いただきますようお願い申し上げます。

※当調査は、取り組みを実施するに際し、皆様のご意向やご意見を参考とし、取り組みの内容や実施日の参考とするものです。

従いまして実際の取り組みにあたっては、みなさまに再度正式に参加依頼等をさせていただきますことを申し添えます。

（事務担当）

石川県土木部監理課
建設業振興グループ

念介、上前

[Tel:076-225-1712](tel:076-225-1712)

[Fax:076-225-1714](tel:076-225-1714)

高校名	
氏名	
連絡先	

別紙

私たちはこれから以下のような取り組みを検討しております。実施(参加)可能なものについて可能な時期を教えてください(複数回答可)。

- ①現場見学会(業界で働く方の説明による建設現場の見学)
- ②意見交換会(業界で働く若手とのグループトーク)
- ③出前講座(業界で働く方による職業講話・パネルディスカッション)
- ④その他
- ⑤実施(参加)できそうなものはない

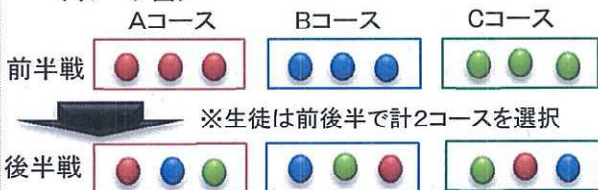
(月)	(時期)	(実施希望)	(月)	(時期)	(実施希望)
4月	上旬		10月	上旬	
	中旬			中旬	
	下旬			下旬	
5月	上旬		11月	上旬	
	中旬			中旬	
	下旬			下旬	
6月	上旬		12月	上旬	
	中旬			中旬	
	下旬			下旬	
7月	上旬		1月	上旬	
	中旬			中旬	
	下旬			下旬	
8月	上旬		2月	上旬	
	中旬			中旬	
	下旬			下旬	
9月	上旬		3月	上旬	
	中旬			中旬	
	下旬			下旬	

(その他、実施に関するご意見・ご要望)

<意見交換会の例>

- 形式 ①: 講師毎にコースに分け
 ②: 生徒は希望するコースに移動
 ③: 前半(第1回)スタート
 ④: ※②・③繰り返し

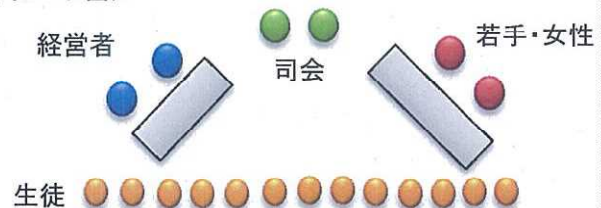
<イメージ図>



<出前講座の例>

- 講師: 業界の経営者・若手・女性
 内容: ①業界に入職した理由
 ②働く際に感じるやりがいや苦労話
 ③業界でのキャリアパス など

<イメージ図>



※それぞれの取組み内容に関しては、学校側のご要望に沿い、柔軟に対応が可能です。

高校名	〇〇高等学校
氏名	石川 太郎
連絡先	076-〇〇〇-××××

別紙(記載例)

私たちはこれから以下のような取り組みを検討しております。実施(参加)可能なものについて可能な時期を教えてください(複数回答可)。

- ①現場見学会(業界で働く方の説明による建設現場の見学)
- ②意見交換会(業界で働く若手とのグループトーク)
- ③出前講座(業界で働く方による職業講話・パネルディスカッション)
- ④その他
- ⑤実施(参加)できそうなものはない

(月)	(時期)	(実施希望)	(月)	(時期)	(実施希望)
4月	上旬		10月	上旬	
	中旬			中旬	②
	下旬			下旬	
5月	上旬		11月	上旬	
	中旬			中旬	③
	下旬			下旬	③
6月	上旬		12月	上旬	
	中旬			中旬	
	下旬			下旬	
7月	上旬		1月	上旬	
	中旬			中旬	
	下旬	①		下旬	②・③
8月	上旬	①	2月	上旬	②・③
	中旬	①		中旬	
	下旬			下旬	④
9月	上旬		3月	上旬	④
	中旬			中旬	
	下旬			下旬	

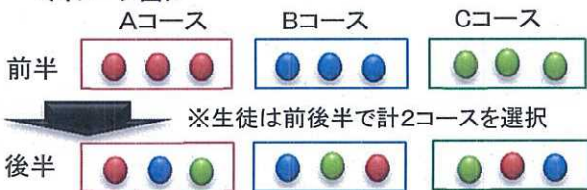
(その他、実施に関するご意見・ご要望)

- ①現場見学会については夏休みの時期のみ実施可能である。
- ②意見交換会については総合の時間(毎週〇曜日〇限目)を活用して実施可能である。
- ③出前講座については学年全体向けとして実施してほしい。
※②・③について、1つの業界のみならず、他の業界の話も聞けるとありがたい。
- ④当校で面接指導の時間があるので、面接官役として講師を派遣できないか。

<意見交換会の例>

- 形式 ①:講師毎にコースに分け
 ②:生徒は希望するコースに移動
 ③:前半(第1回)スタート
 ④:※②・③繰り返し

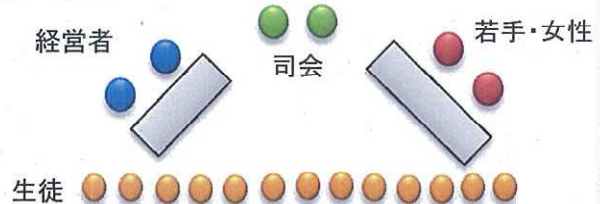
<イメージ図>



<出前講座の例>

- 講師:業界の経営者・若手・女性
 内容:①業界に入職した理由
 ②働く際に感じるやりがいや苦労話
 ③業界でのキャリアパス など

<イメージ図>



※それぞれの取り組み内容に関しては、学校側のご要望に沿い、柔軟に対応が可能です。